

目標達成計画

作成日: 平成 23年 5月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己 13 14 37	古新会(家族会)で直接ご家族から意見として頂いている。また、ご家族の方からのアンケート結果も「認知症のプロとして頑張してほしい」と意見があった。認知症ケアのプロとしてスタッフ全員が認知症を理解することができ適切なケアを行っているか振り返り支援を見直す。	職員全員が認知症を理解し適切な支援をする事が出来る。また、職員のレベルアップを図る。	・認知症に関する外部研修に参加し、参加した職員がホームで先生となり内部研修を行う。 ・内部研修で定期的に認知症の勉強会を開催する。	12ヶ月
2	2	施設から外部に出かける機会はあるが、地域の方が施設に訪れる機会が少ない。外部との関わりが薄く、地域とのつながりが定着していない。ボランティアの訪問が少ない。	外部ボランティアの協力を得る。また、地域とのつながりを更に強め、今以上に施設の理解を深めたい。	・ボランティアの受け入れ。(一般の外部のボランティア:地域の方や地域の小中学校への働きかけを行う) ・地域の方との交流(施設の行事に地域の方を招く)	12ヶ月
3	13	定期的な避難訓練が行われていない。	各場面を想定した避難訓練を定期的に行う事で、安全に避難出来る方法を全職員が身につける事ができる。また、地域との協力体制を整える。	年間通して各場面の避難訓練を行う。(H23年2月27日施行) ・年2回の消防署や消防団の立ち合いの避難訓練(4月・10月) ・年2回はホーム内での避難訓練(7月・1月) 地域の防災訓練に参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。